

2016年(平成28年)9月28日(水) 第12回 例会 (通算2718回)



人類に
奉仕する
ロータリー

Weekly Report No.2602

Rotary International District2580

石垣ロータリークラブ



地区ガバナー：上山 昭治氏

石垣ロータリークラブ

RI 会長：ジョン・F・ジャーム

「出会いを大切に」

ロータリーレート \$1=¥102

石垣ロータリークラブ55年のあゆみ

1972～1973年度



十二代会長 山川 実

副会長	池間 武福	幹事	山城 明
副幹事	佐久本 永治	会計	名城 正幸
会場監督	砥板 芳三	クラブ奉仕	
社会奉仕	富川 盛博	職業奉仕	岸本 恵正
国際奉仕	マリオ・C・バーベリー		

- 第358地区のロータリアンの協力を得て、石垣市へ救急車を贈呈
- 地元団体と協力して、観音堂ビーチの美化推進運動を実施

《社会情勢》

- 1973年 ・石油危機で諸物価が暴騰
- ・過疎のすすむ中で竹富町の新城と黒島への西表の仲間川から生活用水を海底送水することになり工事進行中
 - ・県内でも数少ない夜間診療所のスタート
 - ・原水協の沖縄近海魚貝類の水銀汚染発表で漁民に打撃
 - ・食肉センターの設立
 - ・若夏国体の炬火、波照間島で採火



1972～73年度 RI会長
ロイD.ヒックマン
(米国・バーミンガムRC)

【RIテーマ】

もう一度 見直そう！



会 長	： 前木 繁孝	副 会 長	： 大浜 一郎	幹 事	： 前原 博一
副 幹 事	： 宮城 早人	SAA・出席	： 遠藤 正夫	情報・会報	： 宮良 薫

例会日 水曜日 12:30～13:30
 例会場 ホテル日航八重山(0980)83-3311
 事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4

TEL/FAX(0980)83-2917
 URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>
 E-mail ishiroty@ninus.ocn.ne.jp

— . . . — 第2717回 2016年9月21日(水) 例会報告 — . . . —

- 司会進行：遠藤 正夫
- ロータリーソング：奉仕の理想・四つのテスト
- ソングリーダー：池城 貞光
- ゲスト：松田 美貴氏(有)沖縄シップスエージェンシー会長
松田 新一郎氏(" 社長)
- メイクアップ：大浜 勇人

■出席報告

会員総数 41名 出席義務会員 40名
出席数 30名 欠席数 10名
出席率 75.00%(9月通算出席率 66.67%)

 本日のにこにこ

	小 計	累 計
BOX	¥6,000	¥51,000
コイン	¥5,089	¥52,374
合 計		¥103,374

- 地域と共に20周年、感謝！ (宮良 榮子)
- 本日ゲスト卓話の松田様ありがとうございました。
(前木 繁孝)
- ばすきなよ、20周年誠におめでとうございませう。
増々のご発展をお祈り申し上げます。
(上原 晃子)
- 社会福祉法人希望ヶ丘20周年おめでとうございませう。
(前原 博一)

幹事報告：前原 博一

地区大会のご案内を致します。2017年2月1日・2日にホテルニューオータニで、東京上野RCをホストとして開催されます。先週実行委員長の園部さんが案内に来ていました。後日、事務局より皆様にご案内致します。ぜひ多くの会員で行きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

前回もご案内しましたが、石垣市女性団体ネットワーク会議の20周年記念「ベトナムの風に吹かれて」という映画のチケット販売をしております。上映会は10月2日市民会館大ホール、料金は990円です。ご購入希望の方は事務局までお願い致します。

会長挨拶：前木 繁孝

先週の十五夜の夜に合わせての夜間例会、ホテル日航とうばら一まの歴代チャンピオンたちの歌を聞きながらの例会、いかがでしたでしょうか。ちょうど上野RCの大野会長と園部地区大会実行委員長お二人がお見えになっていました。大野会

長、園部委員長も堪能できたと喜んでいらっしゃいました。

今日にはにこにこ袋について触れたいと思います。「社会奉仕が一番お金がかかります。通常予算に組まず、にこにこBOXの貯金をこれに充当するように指導されているのは、元来はその都度イベント毎に出して会員が負担するわけなんです、その煩わしさを避ける意味と分けあがった善意を無駄にせぬようにとプールするのがボックスです。その都度の貯金に抵抗があったら、ボックスの利用を強調し奉仕活動の資金はこのボックスに依存すべきです。これは社会奉仕にのみ限定する必要はありません。」という事です。にこにこボックスを少し活性化していきたいという事で、ご協力をお願いをしようと思ひ、この文面を出しましたが、この後に「人間はお金を出すことによって実感を持つものです」と続きます。ぜひこのにこにこ袋を活用して頂いて、ご協力をお願いしたいと思います。皆様の中で今日は良い事があった、お祝いごとがある、奥さんの誕生日、結婚記念日、表彰を受けました、会社増資等々、一筆したためてお願いしたいと思います。ただ楽しい事ばかりじゃなく、例えばお酒を飲んで、無事路上寝しないで帰宅できた、それから遅刻をしてしまった、そういうものを含めて、にこにこボックスだと捉えて頂ければ、毎回内容に事欠かないかと思ひます。たくさんプールして、また楽しい事に使えたらなと思ひます。よろしくお願い致します。

今日はゲスト卓話として沖縄シップスエージェンシーの会長、松田美貴様がお見えになっております。そして社長の松田信一郎さまも同席されています。この石垣には重要な方々で、会長と社長の気を曲げてしまうと、石垣の活性化も危ぶまれるというくらいのお力を持って貢献されています。本日は会長から、今後の石垣がどうあるべきなのかを含めてお話頂けるという事で、楽しみにしております。よろしくお願い致します。

ゲスト卓話：松田 美貴氏

(有) 沖縄シップスエージェンシー
会長兼最高経営責任者

～沖縄県のクルーズ客船寄港に関して～



本日は沖縄におけるクルーズ客船に関して、今までの取り組み、また将来に向かっての取り組みという話をさせていただきます。石垣港にクルーズ客船が初入港してから今年で21年目になります。その間、沖縄県、特に那覇港、石垣港は外国籍のクルーズ客船が寄港する日本一が13年続きました。14年目に九州に抜かれましたが、それでも沖縄、特にこの石垣はクルーズ客船の寄港地として魅力ある場所です。綺麗な海に囲まれて、珊瑚礁もあります。中国、台湾、また欧米の方が来て、こういうきれいな海は見た事がないと言います。

現在は本島で4つの港それから宮古、石垣島、与那国島、座間味島と寄港しています。1月から12月までの統計ですが、クルーズ船の寄港回数が来年は2倍になります。そうしますと、寄港地が足りないという事で、し烈な戦いをして岩壁の取り合いをしています。石垣も今年、安倍首相が所信表明で石垣に2年以内に大きな岩壁を造るという事で、着々と進んでいるようです。今から21年前に寄港した船は2万8千トンでした。その船を見て、大きいねと皆で騒いでいましたが、クルーズ客船の大型化という事で、22万トンの船が来年から再来年にかけて沖縄に来ます。インフラ整備、岩壁、だいたい5年から10年くらいのスパンで出来ませんが、現在は残念な事に岩壁がないんです。どうしようかと言う事で、那覇にコンテナターミナルという岩壁があります。そこに150mの栈橋を造って、無理やり付けるという話をしています。今年の11月に15万トンの船が、スタークルーズの会社、親会社ですけど出来上がります。2019年には20万トンの船が2隻完成します。この20万トンの船をこれから入れようという岩壁を今、国交省を中心に各地で整備しています。今年11月に出来る15万トンは、来年の4月から沖縄に定期寄港します。残念ながら限られた岩壁にしか付けられないので、今のところ那覇港または宮古沖か石垣の沖合に停泊し、船が持っているテンドーボートでお客さんを運びます。その船は3,500名乗りなので、運ぶのに3時間くらいかかってしまう。そういった時間のロスもあるので、石垣島を堪能してもらえないというのが現状です。

20年前と現在、何が変わって来たかという、クルーズ客船の経済効果というのがあります。だいたい1隻4,000万円、大きい船になると2億、

これが地元に着るわけです。落ちた先のお金というのは見えないんです。マクロ的な経済がありますので、ただ当時の宮古島での話として、通りにある薬局の売り上げが、入港前の年の100倍になったと聞きました。在庫がなくなって、地元の人の薬が消えてしまって、薬局の店員さんは大変だったみたいです。それが現在はどうかというと、大型ショッピングセンター、大型複合店、ディスカウントショップの一人勝のような感じがします。もう少し地元にお金を落としてほしいというのは我々の願いですが、どうしても大手に持って行かれてしまうというのが現状です。

それでは地元の取り組みはどうしたいのか。石垣島に、または宮古島に来た時に、何を売りたいのか、きちんと目標を持って、岩壁の上で物産展をしてもらって、それが一番手取り早い方法かなと思います。どうしても中国から来るお客さんは、今は爆買いという言葉がありますが、21年前は台湾の方が爆買い、薬局の在庫の約半分以上を買ってくれた、それが分散していますので、それだけでは地元にお金は落ちません。沖縄の物産で何を売るのか、お菓子だけではなくて、地元の名産品を売る、その辺のアイデアを商工会、青年会議所の役目だと思います。若い方のアイデアでどんどん売って欲しい。最近地元の酒造メーカーでも梅酒、それからいろんな柑橘系のフルーツを使った泡盛が出ています。それが今人気で船内での販売もかなり伸びています。その分、泡盛の知名度が上がってくれば幸いだと思っています。

そして将来の取り組みですが、ただ船を誘致するだけでは一体何の効果があるのか。最初、乗客は船で泊まりますので、ホテル業界からいろいろクレームがきました。船に泊まる設備もあるし、食事もできる。ところがその後ホテルを使って、乗客の昼食の会場にして進めた所、沖縄は観光客が増えていますので、3,000名のお客さんが来て泊まれるホテルがないわけです。ただし船で泊まってくれるので、内地から来たお客さん、修学旅行のお客さんに負担をかけない、ただし食事の場所で使ってもらおうという事で、そのクレームがなくなってきました。ですからいろんなアイデアを出して外国から来るお客さんに対して、どういったサービスをすればいいのか、それを突き詰めてやっていくのは地元の方たちのアイデアになります。我々の会社に何かご要望があれば、惜し

みなく提供させていただきます。私は沖縄出身ですので、この沖縄をクルーズのメッカ、カリブ海、マイアミにしたいと思って20年前から頑張っていますが、もうそろそろそれに近づいています。

1つの戦略として、米軍の拠点の戦略と一緒になんです。台湾、中国、韓国それから日本本土に近い、クルーズ船のお客さんは1日海の上にいるので、翌朝陸地が見えると心理的に安心するわけです。ちょうど沖縄はコースが組みやすい、地理的に便利な所にあるわけです。それが石垣でもあり、宮古でもあり、沖縄本島です。沖縄には4つの開港（オープンポット）があります。開かれた港はCIQ、検疫、入管、税関がちゃんと常駐しないといけない港になります。他府県の場合は1つの港か2つくらい、沖縄には4つもあって、さらに不開港というのが6か所くらいあるので、全部で10か所くらい寄港できます。沖縄県内で、クルーズ客船の寄港地を宣伝できるという恵まれた地域です。当然日本は島嶼国、沖縄も島嶼国ですが、それを逆に利用してクルーズ船の寄港地に「今はもう沖縄だよ」という事を目指して、我々頑張っております。どんどん政情も変わってきますが、ぜひ石垣、大きな岩壁を造ってもらって、船は物理的に、22万トン以上はおそらく大きくならないと思います。20万トンクラスになると、6,000名のお客さんと2,000名の乗組員、計8,000名が一度にやってくるわけです。そうするとソフト面で、バスがない、タクシーがない、どうやって観光に行ったらいいのか。例えばサイクリングに行ったらどうですかという提言も出来るわけです。旅行社の範ちゅうになります。沖縄の中でも石垣島と宮古島はトライアスロンが盛んです。サイクリングコースが整備されています。歩いてもそんなに遠くはない、往復4時間歩いてもいいんじゃないのという話がありますので、その案内をする看板、案内標識、これも多言語対応にもらって、マップを見てどこにでも行けるような形にするとか、やはり行政と地元住民の方のこれからの努力だと思います。

石垣島は沖縄でも数多く寄港する島です。欧米の方も「石垣島きれいだね〜」という事で、飛行機で来る方も増えています。その1つの原因として乗組員、台湾から来る船は1,000名乗っています。その内訳は船長、士官クラスはスウェーデンです。スカンジナビア、スウェーデン、ノルウェ

ー、フィンランド、欧米、ロシア含めて、それと中国、フィリピン。乗組員は1年働いて帰ります。船長クラスはだいたい10週間、2ヶ月ちょっとで交代します。沖縄の写真をいっぱい持って、自国に帰るわけです。そうすると親戚友達が、「沖縄っていい所みたいだねー」という事で、今度は飛行機で来てくれる。そういう相乗効果があります。クルーズ客船のおもてなし、これから守礼の国で行きたいと思いますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。本日はありがとうございました。

☆☆例会風景☆☆



石垣に寄港するクルーズ客船のお話を頂きました。

